



令和3年度 第2学期終業式 校長講話 R3.12.24 (金)

皆さん、おはようございます。

今日で2学期が終了となりますが、どのような学期だったでしょうか。

2学期当初はコロナ緊急事態宣言下でのスタートになりましたが、その後は感染者数も減少し、現在に至っています。ただ、オミクロン株と呼ばれる新たな変異種も確認されていますので、引き続き、感染防止を図りながら毎日を過ごしてください。

そのような中でも体育祭や文化祭が実施できたことは大変良かったと思います。制限はありましたが、その中でも思い出に残るものになったのではないのでしょうか。私も皆さんの笑顔を見て元気をもらいました。

また、生徒の皆さんの活躍としては、2年3組の太田真由（おおたまゆ）さんが「学生と企業が作ったかわぐち学生CMアワード」に参加し、インターンシップ体験のプレゼンを行い、そのCMがグランプリを受賞しました。このあと、皆さんにも見ていただきます。

園芸デザイン科3年生の課題研究作品制作班の皆さんは、東京オリンピック・パラリンピックの飾花事業に貢献したとして埼玉県から感謝状をいただきました。

写真部では2年1組の照井七海（てるいななみ）さんの作品が来年2月に神奈川県で行われる第28回関東地区高等学校写真展の埼玉県代表として推薦されました。約2300作品の中から選ばれました。おめでとうございます。

さらに、第38回さいたま花の祭典品評会では、フラワーデザイン部門において1年3組の戸田結心（とだゆうしん）君の作品が銅賞に、2年1組の野口聖梨奈（のぐちせりな）さんの作品が佳作を受賞しました。これは多くの一般の方々が出展する中、高校生の受賞は大変素晴らしいことです。皆さんも機会があれば、是非いろいろなことにチャレンジしてください。将来の可能性が大きく広がると思います。

そのほかの部活動もそれぞれに健闘したと伺っています。また、冬季休業中には演劇部の公演や吹奏楽部の定期演奏会があります。頑張ってください。

成績では、2学期の成績優良者（通知表の平均8.3以上）は1年生は22人（15人）、2年生は25人（28人）、3年生は24人（38人）、合計71人（81人）です。よく頑張りました。ただ1学期より10人減りました。

残念にも、欠点をとってしまった人、3学期は卒業や進級に関わってきます。自分を見つめ直して、真剣に努力してください。

さて、今日は、1年を振り返り、新しい年を迎えるにあたり、次の言葉ことばを紹介します。

心が変われば行動が変わる 行動が変われば習慣が変わる
習慣が変われば人格が変わる 人格が変われば運命が変わる です。

有名な言葉ですので聞いたことがある人も多いと思います。

プロ野球選手でアメリカメジャーリーグでも活躍した松井秀樹選手の座右の銘でもあります。

もともとはアメリカの哲学者であり、心理学者のウィリアム・ジェームズ氏の言葉とされています。

心の持ち方や気持ちは行動に現れる。その行動を繰り返すことで習慣となり、良い習慣を身に付けると自分の性格や人格、将来までも変えることができるという意味です。また、裏を返せば、心の持ち方や気持ちを変えない限り人は変わることができないということになります。

ある先生が京都の大徳寺大仙院の尾関宗園（おぜきそうえん）和尚に、「人間はそう簡単に変わることはできませんね」と持ちかけたところ、和尚は「いや、できる。人間の体には60兆個の細胞があるが、1日3千億から4千億の細胞が入れ替わっている。今朝、鏡で見た自分の姿は、昨日と変わらないようではいて実は同じではない。変わらない人間なんていない。日々新しい細胞と入れ替わって数か月ですべてが入れ替わっているのである。」と諭されたそうです。さらに「今からでも遅くはない。そう思って心を入れ替えて充実した日々を過ごしていけば、必ず運命は変わるのである。勝負はこれからだ。」と言われたそうです。

大きく成長する可能性を皆さん一人一人が持っています。心の持ち方次第でいくらでも変わることができます。

新しい年を迎えるにあたり、自分自身を省みて、今よりもっとよい方向へ変わってみてはどうでしょうか。

3学期を楽しみにしています。